

あいちの印刷

11

2023.11
No.624



丸山千枚田（日本の棚田百選・三重県熊野市）

もくじ

- 巻頭言「学生との交流会を前に思うこと」…………… 3
- 全日本印刷工業組合連合会
2023全日本印刷文化典広島大会…………… 4
- 愛印工組・10月期理事会
新年互礼会を令和6年1月10日に開催…………… 6
- 日印産連<情報>「知的財産トラブル未然防止アドバイス」
Webサイト知的財産権ページで提供…………… 7
- サステナブルカンパニーへのパスポート
全印工連CSR認定制度…………… 8
- 全印工連CSR認定 取得方法
ワンスター認定／ツースター認定／スリースター認定 …… 9
- 新規事業に挑戦する中小・中堅企業を支援する
第10回「事業再構築補助金」公募結果……………10
- 過労死防止:過労死ゼロの社会を目指し……………12
- 過労死等防止対策推進シンポジウム……………13
- セミナーのお知らせ……………14
- 編集だより……………14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機

Safety Speedy Smart



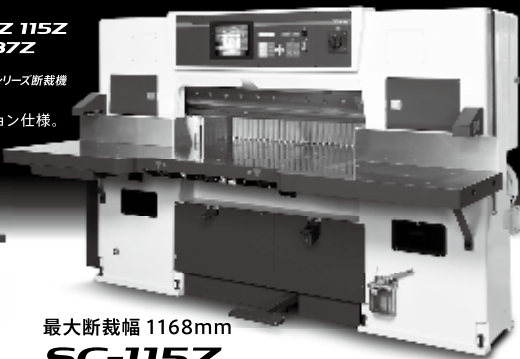
CIP4
Number
CIP4に対応
(オプション)



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「学生との交流会を前に思うこと」

副理事長 竹倉 幹雄

本年度新たな組合事業として「クリエイターコラボ事業」がスタートしました。

東海エリア中心に活動するクリエイターと、愛知県印刷工業組合会員企業との協働プロジェクトにより、一般向けに売れるプロダクトを開発してみようというものです。

クリエイター、印刷会社共に参加者は十分に集まるのだろうか。

そんな心配をよそに、8月29日に開催したマッチングイベントは会場から溢れるほどの大変な盛況となり、まずは一安心をしたところです。ここから来年5月に開催が予定される「ワクワクぷりんとう博覧会」まで長いプロジェクトになります。参加をいただいている皆さまに改めてお礼を申し上げますと共に、クリエイターの皆さん、会員企業双方がこの機会をうまく活用していただき、何かしらプラスになれば幸いです。

さて、CSR・ブランディング委員会が担当として毎年この時期に参加しているものに、愛知県労働局が実施している「中小企業経営者と学生との交流会」があります。

昨年も中京大学に赴き、参加した約60名の大学

生に対し、印刷業界について説明をしてきました。

熱心な学生が多く質問等も活発で、こちらの方が勉強になることも非常に多い機会です。今年も楽しみにしています。弊社も小さいながら毎年採用をしているため、彼らがどんな言葉にどんな反応をするのか、興味深く見ておきたいと思います。

学生に業界や会社の説明をするにあたり、耳触りの良い話に終始することだけではないように心がけています。紙媒体の急激な減少で印刷業界が大変なことは、学生の皆さんはよくわかっています。

苦境の中で自分たちの強みを再定義したり、試行錯誤の中で企業毎に方向性がかなり変化してきており、産業として多様性が進んできていることなど率直にお話しするようにしています。

ポジティブに捉えれば、将来的に多様性がさらに進むことで、新しいアイデアやサービスが生まれてきたり、優秀な人材が流入してくることも十分期待できることと思います。

情報産業の一翼を担う印刷業界。学生から見て魅力のある業界・会社であり続けるためにはどうあると良いのか。若い人材が大きく成長できる業界であるためにはどうしたら良いのだろうか。改めていろいろ考えさせられる時期です。



お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080iにオプションを装着したものです。

コニカミナolta ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



2023 全日本印刷文化典広島大会 テーマ「真っ赤に燃やせ!印刷魂」

5年ぶりの文化典・広島で開催、全国から580名が参加 木野瀬吉孝氏ら印刷産業発達功労者で表彰



全日本印刷文化典広島大会の記念式典



印刷産業発達功労者で表彰される受表彰者（右端が木野瀬氏）

全日本印刷工業組合連合会（滝澤光正会長、全印工連）では、全国の印刷業者の協調団結と向上発展を目的に「全日本印刷文化典」を開催しているが、今年度は10月13、14日の2日間、全日本印刷工業組合連合会、中国地区印刷協議会、広島県印刷工業組合の主催により、広島市中区にあるリーガロイヤルホテル広島において、「2023全日本印刷文化典広島大会」を盛大に開催した。印刷文化典は、2020年に長野県での開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大によって1年間延期されたが結局中止となり、今回の広島大会は2018年以來の開催となった。5年ぶりの文化典に全国各地より580名が参加、情報交換と旧交を温める絶好の機会となった。

■岸田文雄内閣総理大臣からビデオメッセージ

「2023全日本印刷文化典広島大会」は「真っ赤に燃やせ！印刷魂～水の流れが大地を創る。人の心が未来を開く～」をテーマに掲げ、メイン行事となる「記念式典」は初日の13日に開催された。

記念式典は、宇都宮公徳実行委員長（広島県工組副理事長）の開会宣言で幕が開き、開催工組を代表して中本俊之大会委員長（広島県工組理事長）が次のように述べた。

「全日本印刷文化典の開催は、2018年に高知で行なわれた大会以来5年ぶりである。広島での開催は50年ぶりとなる。5年前に実行委員会を立ち上げ準備に入ったが、大半はコロナの情報収集に追われた。そんな中で、『広島に来てよかった』とだけいただけた大会にしたいと、広島県工組一丸となって準備を進めてきた。今、我々は厳しい状況におかれている。しかし、決して下を向かず、強い気持で未来を切り拓いていこう、というメッセージをお伝えしたい。広島は、原爆の惨禍やさまざまな災害から何度も立ち上がってきた。そんな

広島から全国の仲間にエールを送りたい」。

続いて、滝澤光正全印工連会長が次のように挨拶した。

「新型コロナウイルス拡大の影響により、今や印刷産業に対する期待と需要は一変した。また、SDGsやカーボンニュートラルへの対応は企業として当然の取り組みとなり、デジタル技術の利活用による一層の生産性向上、地域社会への貢献、地場産業としての事業継続も求められている。こうした状況の中で、全印工連では『HAPPY Industry—人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』のスローガンを掲げ、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指し、『DX導入による生産性向上』、『事業領域拡大による新たな価値創出』、『サステナブルな事業経営』を基本的な考えとして、社会から求められる魅力あふれる産業へ向け各種事業を積極的に推進している。

昨年から本格稼働を開始した『DX-PLAT』の運用を通じて、印刷産業の構造改革を図り、これからの時代にふさわしい印刷産業の姿を確立することを目指していく。本文化典を機に、これからも高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換という目指すべき方向性の共有と、多くの人々や社会に夢と潤いを与えることのできる印刷産業人としての誇りを再確認し、印刷産業の素晴らしさを幅広くアピールする機会となれば幸いである。」

続いて来賓祝辞に移り、岸田文雄内閣総理大臣からのビデオメッセージが放映された。次いで、長尾裕之経済産業省中国経済産業局産業部長、湯崎英彦広島県知事（玉井優子副知事代読）、松井一實広島市長が祝辞を述べた。

引き続き表彰式が行なわれ、木野瀬吉孝（木野瀬印刷㈱代表取締役会長）、臼田真人（㈱アドピア代表取締役社長）、吉田忠次（㈱ダイシンコラボレーション代表取締役会長）、日暮秀

一 (株太陽堂印刷所代表取締役)、三上伸 (青森オフセット印刷(株)代表取締役) の5氏に印刷産業発達功労者顕彰を行なった。また、組合功労者61名と優良従業員103名の表彰も行なわれた。受彰者を代表して臼田氏が謝辞を述べた。

その後、小下壮嗣広島県工組青年部会部会長が「印刷文化典広島宣言」を発表、細川俊介広島県工組副理事長が閉会の辞を述べて記念式典は終了した。

記念式典終了後、「全印工連メッセージ」を滝澤会長が行ない、全印工連の取り組み事業などについて発表。また、富沢隆久教育研修委員会委員長が「全印工連特別ライセンスプログラム事業」について説明した。

大会記念講演では、「印刷業界にも通じる人材育成術」と題し、サッカー J1のサンフレッチェ広島から駒野友一、森崎和幸、森崎浩司の3氏をパネラーに、門田卓史(株)educactivators代表が司会を務め、パネルディスカッション形式により、それぞれの視点から意見を交わした。

記念パーティーでは、広島東洋カープ球団公認の「CARP JAZZ」の演奏で幕が開き、中本大会実行委員長の歓迎の言葉に続き、来賓を代表して池田晃治日本商工会議所副会頭が祝辞を述べた。主催者、来賓による鏡開きの後、乾杯の発声をヨルグ・バウアーハイデルベルグ・ジャパン(株)社長が行ない祝宴に入った。全国から参集した580名の印刷人が、情報交換と親睦に華を咲かせた。宴たけなわのなか中川隆広島県工組副理事長の閉会の言葉で散会となった。

■全印工連フォーラム・2050年の世界へ

翌日14日には、全印工連フォーラムが開催された。フォーラムは、江森克治全印工連常務理事、産業戦略デザイン室副委員長が総合司会を担当し、「未来はバックキャストिंगで切り拓け～事業家魂に火をつけるSFプロトタイピング経営戦略へ」と題して、未来戦略を基に創作したオリジナルSF小説の発表とトークショーが行なわれた。2050年の未来に向けての経営戦略構築のヒントが提案された。

その他にも、広島大会の開催に合わせ12・13の両日、リーガロイヤルホテル広島を会場に「印刷産業夢メッセ」が開催された。12日には9つのソリューションセミナー、13日には基

令和6年新春 印刷と関連業界「新年互礼会」 開催のご案内

愛知県印刷工業組合では、新春恒例の印刷と関連業界「新年互礼会」を下記要項で開催。

●開催日時: 令和6年1月10日(水) / 15時30分～新春講演会、17時20分～新年互礼会

●会場: 名古屋東急ホテル3階 / 新春講演会「錦の間」、新年互礼会「ヴェルサイユの間」(住所: 名古屋市中区栄4-6-8 TEL052-251-2411)

●参加会費: 1人22,000円(※講演会のみ参加の場合1人5,500円)、☆愛印工組組合員及び賛助会員1人15,400円(※講演会のみ参加の場合1人3,300円)

●申込締切日: 12月7日(木)

●主催: 愛知県印刷工業組合 / ○協賛: 愛知県印刷産業団体連絡会

■新春講演会

演題: 「ありたい姿」を追求して築く創発型経営の実践～社員と共に奮闘する三代目社長の顧客価値経営とは～
講師: 小杉善文氏(株)金沢シール代表取締役社長

講演内容: 売り上げや利益よりも「お客様にとっての価値」を最優先することを「顧客価値経営」という。その実現には社員の自主性を高め、社会と調和することが要求される。「日本経営品質賞」は、それを実現するトップの思いが、どれだけ社員に伝わっているかを検証し表彰する制度になる。今回の新春講演会は「日本経営品質賞奨励賞」を受賞された(株)金沢シールの小杉善文社長を招聘し、「ありたい姿」をキーワードに、受賞までの取り組みを通じて必要とされる企業像について、講演していただきます。これからの経営の姿のヒントに是非ご参加ください。

調講演『「デザインの引き出し」の作り方・続編』講師: 津田淳子
グラフィック社編集長が招聘され、「デザインの引き出し」創刊50号誕生秘話が語られた。

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



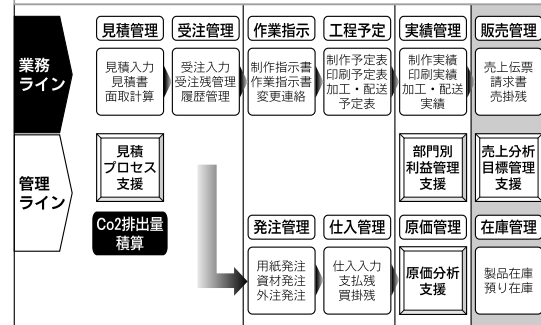
P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』 『今こそ!! 情報の見える化 (MIS)』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました!



株式会社 **モトヤ** 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL. 06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 TEL. 03-3623-8711

■愛印工組・10月期理事会

新年互礼会を 令和6年1月10日に開催

場所:名古屋東急ホテル

■組合員の減少で西尾張支部を廃止 東尾張支部を尾張支部へ変更

愛印工組の令和5年度10月期理事会(第3回)が、10月10日15時よりメディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では、支部廃止および支部名変更、次期支部役員(理事)の推薦、各委員会事業報告、各支部活動報告などが行なわれた。

理事会は、河原善高専務理事の司会進行で進められ、鳥原久資理事長は冒頭の挨拶で次のように述べた。

「我々の業界は情報産業として、しっかり汗をかいて行かなければならない。今の仕事がお客様に喜んでいただけるようにやっていきたい。全印工連もいろいろなメニューを考えている。セミナーも然りであるが、教育動画サイト『印カレ』という仕組みも周知のとおりである。こうした仕組みを大いに利用して社業に活用していただければ幸いである。

組合の大きな事業であるポスターグランプリ。先般、審査委員会も終え、最優秀賞であるグランプリが決まった。今年は過去最高の応募点数である。高井元理事長の時に始まり、木野瀬、細井両前理事長の骨折りがあって、このような大きなイベントに育ってきた。さらに実りあるものにしていかねばならない。入賞・入選作品展が愛知県美術館で開催される。是非、足を運んでいただきたい」。

理事会は、鳥原理事長を議長に議案審議に入り、組合員の加入・脱退では、2社の脱退が報告された。支部廃止及び支部名変更の件では、①組合員の減少により「西尾張支部」の廃止、②西尾張支部廃止に伴い「東尾張支部」の支部名を「尾張支部」に変更、③次期支部役員(理事)の推薦などが審議され、総会への上程が決まった。

その後、各委員会の事業実施状況の報告に移った。

●三役直轄事業

第7回親睦ゴルフコンペを箕浦靖夫副理事長が報告。

9月5日セントクリークゴルフクラブにおいて60名56社(組合員34名、賛助会員15名、他11名)で開催。

第14回ポスターグランプリについて鳥原理事長が報告。

第14回ポスターグランプリのテーマは「おばけ」。応募点数は456点。授与賞は、グランプリ1点、優秀賞各部門から2点、特別賞13点に授与、その他、協賛会社賞、入選作品を選出。入賞・入選作品展は10月31日～11月5日愛知県美術館8階展示室E・F、表彰式は11月3日愛知芸術文化センターアートスペースAにおいて開催。なお、入賞・入選作品集は令和6年1月に刊行予定。

●教育委員会事業を酒井良輔副理事長が報告。

①技能検定印刷職種オフセット印刷作業の実技試験及び



10月期理事会のもようと挨拶する
鳥原理事長(右)



採点:受検人数1級7名、2級9名、うち実技試験の合格者1級4名、2級6名。②技能検定印刷職種オフセット印刷作業学科試験対策学習会:受講人数1級3名、2級3名。うち学科試験の合格者1級2名、2級1名。③印刷営業講座:10月6日、7日、13日、14日メディアージュ愛知会議室で開催。参加人数15名。④印刷営業技能審査認定試験:10月28日メディアージュ愛知会議室で開催、受験人数17名。⑤技能検定プリプレス職種DTP作業実技試験及び採点:実技試験令和6年1月27日、採点令和6年1月30日、受検人数1級1名、2級9名。⑥技能検定プリプレス職種DTP作業学科試験対策学習会:岐阜県印刷工業組合の同講習会に相乗り(日時未定)。

※技能検定印刷職種オフセット印刷作業(合否結果)

【1級】学科試験:受検者数3名、合格者数2名。実技試験:受検者数7名、合格者数4名。うち「1級技能士」称号取得4名。【2級】学科試験:受検者数3名、合格者数1名。実技試験:受検者数9名、合格者数6名。うち「2級技能士」称号取得6名。

●労務・新人教育委員会事業を山本芳弘委員長が報告。

①断裁機取扱者に対する特別教育「実技講習」:7月22日(株)アクアス小牧物流センター22名受講。9月18日木村紙商事(株)14名受講。②断裁機取扱者に対する特別教育「学科講習」:8月5日名古屋市中小企業振興会館37名受講。③職長教育:8月25、26の両日、メディアージュ愛知会議室31名受講。講師は鳥原理事長が務める。次回、令和6年2月を予定。④永年勤続優良従業員表彰:受賞者数/愛知県知事賞(勤続15年以上)8名/6社、全日本印刷工業組合連合会会長・愛知県印刷工業組合理事長表彰(勤続10年以上)26名/8社。⑤助成金説明会:11月14日メディアージュ愛知会議室(詳細は14頁参照)。

●組織・共済委員会事業を北川毅委員長が報告。

共済制度加入促進活動:本年度「全印工連共済キャンペーン」の重点工組となっており協力を要請。②印刷と関連業界新年互礼会:令和6年1月10日開催(詳細は5頁参照)。

●経営革新委員会事業を渡辺達也委員長が報告。

経営セミナー:「収益UPで、目指せ成長経営」11月9日15:00～17:00・ウイングあいち、講師は岡山千草(株)ネクスト・ソリューション代表取締役社長。

(次ページへ続く)

■日印産連<情報>

「知的財産トラブル未然防止アドバイス」 Web サイト知的財産権ページで提供

2つの連載記事の全文をダウンロード可能な
PDF データとして掲載

日印産連では、知的財産権に関わるトラブルの未然防止を狙いとした機関誌「JFPI REPORT」に連載の記事を、日印産連Webサイトの「知的財産権」ページに、ダウンロード可能なPDF形式のデータとして掲載し、記事を提供する取り組みを始めた。

印刷会社は、印刷物に掲載する写真やイラスト・デザインの制作、パッケージの開発などを含む企画提案型の業務を行なっていく場合、著作権や特許権などの知的財産権の知識は必須のものとなる。さらに、デジタル化とネットワーク化の進展により、印刷会社の業務も、Webサイトの構築やデータベースの開発から、AI、IoTを駆使した新しい分野に広がりを見せる中、知的財産権の重要性は増し、より一層注意する必要がでてきている。

日印産連知的財産分科会では、印刷業務及びその周辺業務に携わる方々のために、知的財産権に関する啓発を目的として印刷業務で日常起こり得るトラブルを想定した課題研究を行なっている。その研究結果は、日印産連の機関誌「JFPI REPORT」(4回/年発行)に、知的財産権のトラブル未然防止に関わる連載記事として様々な事例を取り上げ、詳しい解説とアドバイスを加え連載している。

今回、2010年10月から2022年4月まで連載された、日常業務で起こりうる様々な知的財産権のトラブルを想定し、それに関わるQ&A、解説とアドバイスで構成された「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」の全文記事46本と、「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」に代わって、2022年10月から新たに連載がスタートした知的財産権にまつわる間違えやすい「あるある」を取り上げ、解説とアドバイスを加え、「知っててよかった! 知的財産あるある」の全文記事4本を掲載する。

2020年9月のWebサイト「知的財産権」のページの改修の



「知っててよかった! 知的財産あるある」
PDF データ掲載ページ

こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」PDF データ掲載ページ

際には、上記「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」の連載記事のうち、Q&Aに関わるパートだけの掲載であったが、今回は新たな連載記事「知っててよかった! 知的財産あるある」と合わせて、その連載記事の全文を掲載することとしている。

Webに掲載されるPDFはアウトライン化されたデータになるが、社内教育を目的に、この記事のコンテンツを利用して独自の教育コンテンツの制作をしたい場合は、2つの記事のWebページに用意された「コンテンツ利用申し込み」ボタンからアウトライン化していないPDFの申し込みが可能。必要事項をWeb上で記入し申し込みれば、希望の記事のPDFデータをメールで送ってくれる。

日印産連では、「今後、機関誌「JFPI REPORT」の発行に合わせ、「知っててよかった! 知的財産あるある」の連載記事のPDFデータの掲載を継続し、コンテンツの充実を図るとともに、知的財産権に関わる様々な情報の提供を進めていく」としている。

※日本印刷産業連合会 Web サイト
「知財トラブル未然防止アドバイス」ページ
「知っててよかった! 知的財産あるある」、「こんなときどうする?! 知的財産アドバイス」ともに
PDF データ掲載ページ
https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=80

(前ページより)

●CSR・ブランディング委員会事業を鈴木裕一委員長が報告。「ワクワクぷりんと博覧会」：令和6年5月11日～12日名古屋千種区星が丘のショッピングセンター「星が丘テラス・マルシェ」で開催。

●青年部/名古屋而立会事業を木野瀬将大理事が報告。

愛知県印刷工業組合との共催セミナー：「アトリが起こす中小企業改革」11月17日18:30～20:25ウイंकあいち、講師は森朝奈(㈱寿商店常務取締役)。

続いて行なわれた支部活動報告では、東北支部を太田善久支部長、西支部を加藤朗支部長、中村支部を渡辺明秀支部長、

中支部を岡戸裕明支部長、名南支部を堀裕史支部長、東南支部を萬谷達俊理事、知多支部を久野彰彦支部長、西尾張支部を森俊一郎支部長、東尾張支部を高橋伸幸支部長、西三河支部を杉谷芳紀支部長、東三河支部を飯野益通氏が行なった。

また、連絡事項として、「印刷物発注と知的財産権」パンフレットの追加加入希望の方は、取り寄せが可能なので用途と必要部数を事務局の勝野次長まで連絡。また、「全日本印刷産業政治連盟」への加入について説明がされた。

全印工連CSR認定制度

SDGs時代をサポートする持続可能な企業経営へのチャレンジ



ワンスター認定マーク ツースター認定マーク スリースター認定マーク

全日本印刷工業組合連合会（滝澤光正会長、全印工連）は、SDGs時代に対応する持続可能な経営で、強い企業を作ることができる「全印工連CSR認定」を、サステナブルカンパニーへのパスポートと位置づけその取得を奨めている。全印工連CSR認定制度の案内より、認定の取得とSDGsとの関連を探ってみた。

●SDGsは、地球も社会も経済活動も、すべて持続可能にしようという呼びかけになる。全印工連CSR認定制度は、持続可能な企業経営をサポート。

全印工連では、「2030年までの世界共通のゴールを国連が示したSDGs(持続可能な開発目標)は、地球環境、人間社会、経済活動のすべてを、これからもずっと続けていけるようにしようという呼びかけになる。世界はいま持続可能な方向に舵を切り、それに併せて企業経営の在り方も大きく変わろうとしている」と指摘する。その上で、「SDGs時代に対応するためには、売り上げを追求するだけでなく、環境問題、働き方改革、情報セキュリティ、社会貢献といった企業の社会的責任(CSR)をしっかり果たしていくことが必要である。同時に、そのような責任のある企業から調達を進めようという動き(SR調達)が、企業だけでなく行政機関にも出始めている」との認識を示す。

「全印工連CSR認定制度は、SDGs時代を生きる企業の持続の可能性をサポートする日本でも数少ない本格的なCSR認定制度になる。この制度を活用し、サステナブルカンパニーへのパスポートを手に入れませんか！」と取得を呼び掛けている。

●CSRの入門編「ワンスター」。持続的経営に必要な要素を網羅したチェックリストで自社の「健康診断」。

「持続可能な経営を目指してCSRに取り組んでみようと思えば、まずはワンスターチェックリストを入手し、目を通してみる」ことを奨めている。ここには、「持続可能な経営に必要な取り組みが8つのCSR項目に分類され、具体的な取り組みとして列挙されているので、自社の強みと弱みが可視化できる。また、各項目に対応するSDGsのゴールも示されており、SDGsへの対応も容易である」と解いている。8つのCSR項目とは、「コンプライアンス／環境／情報セキュリティ／品質／雇用・労働安全／財務・業績／社会貢献・地域志向／情報開示・コミュニケーション」になる。

全印工連CSR認定制度 8つのCSR項目とその具体的内容は図参照。

●本格的なCSR経営へのステップアップ「ツースター」。日々の業務の中に、「持続可能性」を取り込む改革に着手。

ツースターの取得に関して、「本格的なCSR経営へのステップアップとして、CSRのマネジメントシステムを構築していく。【システムチェックリスト】に従って、経営理念の策定や書類管理など、マネジメントの仕組みを整え、必要に応じて、社内のマニュアルや手順書などを改定し、CSRを組織的に進めていける体制を整える」と指示。さらに、「取り組みの評価はワンスターでのチェックリスト方式から記述式に変わる。ワンスターで可視化された現状に基づいて、強みを伸ばし弱みを補強するための取り組みを、CSR項目ごとに作っていく。その際、CSRマネジメントシステムに則って、P(計画)、D

全印工連CSR認定制度 持続可能な経営に必要な 8つのCSR項目	 コンプライアンス 法令遵守、知的財産権への対応、ハラスメントへの対応など	 品質 品質関連認証取得、高齢者・障がい者対応製品、QC活動など	 社会貢献・地域志向 社会貢献、地域振興、教育支援、文化振興、ボランティアなど
	 環境 GP認定制度・ISO14001等取得、環境配慮、廃棄物削減など	 雇用・労働安全 育児・介護休暇、ワークライフバランス、従業員の健康増進など	 情報開示・コミュニケーション 消費者・顧客対応、CSR報告書発行、CS調査など
	 情報セキュリティ Pマーク・JPPS等取得、個人情報保護、セキュリティ強化など	 財務・業績 健全経営、好業績、予算書作成、不祥事防止など	

全印工連CSR認定 取得方法

ワンスター認定／ツースター認定／スリースター認定

全日本印刷工業組合連合会 CSR 認定事務局
〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8
TEL03-3552-4571 FAX03-3552-7727

全日本印刷工業組合が取得を推奨している「CSR認定制度」。CSR(Corporate Social Responsibility)は、企業の社会的責任と訳され、「企業が社会から信頼される魅力ある会社となるための企業戦略・成長戦略であり、CSRは必要不可欠な制度」と位置付けている。さらに、「地域密着型の中小企業においては、優秀な人材の確保や企業ブランドの確立、顧客や金融機関による企業評価の向上などに繋がり、持続可能な経営に寄与する」と謳っている。その上で、「社員が会社や仕事に誇りを持ち、顧客や地域に必要とされるパートナーとして成長するためにも、CSR認定の取り組みは欠かせない」と、その必要性を強調する。

CSR認定は、CSR研究の第一人者である横浜国立大学の影山教授監修のもと、中小印刷業CSR規格を策定し、その基準の達成度を認定することで、企業の成長・発展を支援している。認定の種類には、ワンスター認定(標準認定)、ツースター認定(上位認定)、スリースター認定(最上位認定)が用意されている。

ワンスター認定を例に、その取得方法を紹介する。

応募資格は、「全印工連CSR認定規格が定めるCSRの取り組みを行なう企業」で、組合員以外でも取得は可能である。

取得方法は、「全印工連CSR認定応募申込書」に必要事項を記入し、全印工連宛にFAXで申し込む。応募申込書の到着後、申請書類が送られてくるので、次の①～⑤を提出する。

①CSR取り組み項目チェックリスト、②法令遵守宣誓書

(所定様式)、③納税証明書(税務署が交付した証明書)、④過去3年の行政処分がないことの宣誓書(所定様式)、⑤添付書類(CSR取り組み項目チェックリストで選択した項目を証明する書類)。

申請書類の提出後は、審査機関のCSR&サステナビリティセンターにおいて書類審査が行なわれ、外部の有識者で構成する全印工連CSR認定委員会において、審査結果をもとに認定がされる。認定可否の判定は、認定申請日から起算して1～3か月程度。

認定企業は、認定取得後2年ごとに更新審査を行ない、上位認定の取得もできる。また、CSR認定マークを名刺、会社案内、ホームページなどに表示ができ、積極的にCSRに取り組んでいる企業であることを社会にアピールすることができる。

取得に際しての費用は従業員規模で異なる。例えば、従業員が1～9名の場合55,000円、10～19名の場合60,500円、20～29名の場合66,000円、30～39名の場合77,000円、40～49名の場合88,000円、50～99名の場合99,000円となる(税込み)。

※詳細は [全印工連CSR](#) 検索

※2023年7月現在のCSR認定企業は143社。

(実行)、C(評価)、A(改善)の管理サイクルを回して、取り組みがスパイラルアップしていくように設計する」としている。

また、認定時の評価については、「コンサルタントの資格を持った評価員が現地を訪ねて評価し、各取り組みがステークホルダーにとって有用なものであるか、自社の経営にとって効果的なものであるかどうかとの観点から採点がされるが、「より良い取り組みになるようアドバイスを受けることもできる」としている。

●ツースター以上には、マネジメントシステムが必須。CSRを日常業務に落とし込んで、無理なく、確実に継続できる仕組み作りが必要になる。

CSRの取り組みについて、「CSRの取り組みを社長や特定のスタッフだけがやろうとすると、それぞれの取り組みは単発に終わってしまい、継続が難しくなりがちである。『社員に「仕事以上、のことをさせられない』との声をよく聞くが、CSRのマネジメントシステムを構築するということは、まさに、CSRの取り組みを日常業務にするということである。スタッフの皆さんが「仕事として、取り組むことで無理なく確実に継続できる仕組みが構築できる」と指摘する。

●日々着実にCSRマネジメントシステムを運用して成果を上げ、真のサステナブルカンパニーへ。



全印工連事務局に応募用紙の提出から始める申請から認定までの仕組み

最上位のスリースターでは、「ツースターで設定した取り組みが目指す目標をクリアできたかどうか、本当にステークホルダーにも自社の経営にも有用な「三方よし」の取り組みになったかどうか、その成果が評価対象となる」という。その上で、「サステナブルな組織とは、スタッフ一人ひとりがそれほど強く意識しなくても、日々の業務が自然と持続可能な方向に向かっていくということであり、そのような状態を作り上げていくことが、この制度の一つのゴールといえる」とまとめている。

いずれにしても、認定取得に当たっては、「ツースター同様評価委員のサポートが得られる」としており、「CSRを経営の武器として、真のサステナブルカンパニーを目指しスリースター取得に挑戦してみませんか」と、チャレンジを奨める。

第10回「事業再構築補助金」公募結果

応募件数は10,821件、採択件数5,205件、採択率48.1%

経済産業省は「事業再構築補助金」第10回公募結果を公表した。今回は10,821件の応募に対し5,205件を採択した（採択率48.1%）。採択企業の中から印刷関連企業を抽出し、どのような新規事業に挑戦しようとしているのか、その計画を拝見してみた（誌面の都合上抜粋して掲載）。なお、第11回の

公募申請は10月6日で終了している。また、第12回の公募スケジュールは、公募開始時期が令和5年12月～令和6年1月前後、公募締め切りは令和6年3月前後となる見通し。事業再構築事務局では、「公募要項は必要に応じて改定されることがあるので、最新のものを確認して欲しい」としている。

第10回事業再構築補助金応募と採択結果

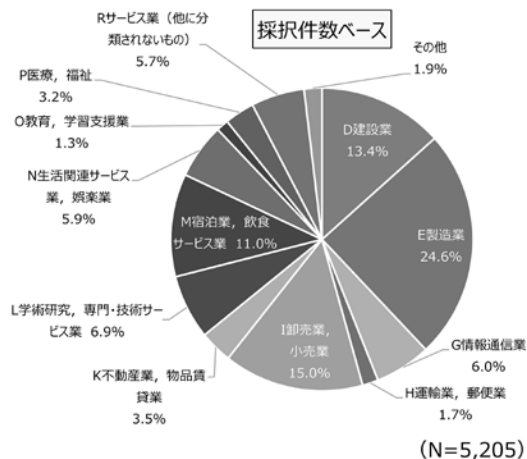
■第10回公募の応募と採択結果は、成長枠2,734件（採択件数1,242件）、グリーン成長枠631件（同262件）、産業構造転換枠275件（同102件）、最低賃金枠249件（同133件）、物価高騰対策・回復再生応援枠6,775件（同3,387件）、サプライチェーン強靱化枠157件（同79件）、応募件数10,821件（同5,205件）となった。

■業種別の応募と採択割合をみると、応募件数ベースでは製造業が20.3%、卸売業、小売業15.9%、建設業13.1%、宿泊業、飲食サービス業12.5%となる。一方、採択件数ベースでは、製造業24.6%、卸売、小売業15.0%、建設業13.4%、宿泊業、飲食サービス業11.0%となった。

■各都道府県別の応募状況と採択状況をみると、東京都1,948件（採択件数976件）、大阪1,202件（同576件）、愛知791件（同413件）、兵庫554件（同246件）、福岡471（同212件）となる。ちなみに、採択率が高い県は岩手県の54件の応募に対して30件が採択されている。

■応募金額及び採択金額の分布を1,500万円単位で分析すると、100万～1,500万円が最も多く全体の6割以上を占めている。次いで、1,501～3,000万円が2割以上となっている。

■認定支援機関別の応募・採用状況では、金融機関が約3,000件で最も多く、税理士関係が約1,900件、商工会・商工会議所が約1,100件となっている。



第10回事業再構築補助金採択企業

■豊橋合同印刷㈱(愛知県豊橋市)

事業計画名「サステナブルなオリジナル商品を全国に。地域密着型の総合印刷事業者による食農教育・ノベルティ向け商品の製造・販売事業」

総合印刷会社として培ってきた強みを活かし、「サステナブルなノベルティ商品の需要拡大」や「食農教育の意識・取り組み拡大」といった外部環境の変化を機会として捉え、食農教育やノベルティに活用できるオリジナル商品の製造・販売を行なう。

■コスモ・グラビア㈱(愛知県春日井市)

事業計画名「医薬・医療向けパッケージの新規市場開拓による売上拡大計画」

電子彫刻製版と環境対応型研磨工程に取り組み、業界初となる電子彫刻による薬事法が定める4ポイント文字再現可能な印刷版製造事業。

■㈱コムズ(岐阜県下呂市)

事業計画名「アニメ著作権を使ったアパレル系プリント事業への進出で事業再構築」

創業以来続けている印刷業は、急速なデジタル化で需要が激減するとともに、低価格のネット通販の台頭により大幅に価格が下落して、利益が全く確保できなくなっている。当社にとっての新技术である布系プリントの設備を導入することで、新たな事業で強固な経営基盤づくりを行なう。

■㈱デジタ(岐阜県恵那市)

事業計画名「ECサイトで培ったマーケティング力の高さを活かし、アクリル印刷事業で新市場に進出！」

印刷通販事業をメインにシールやTシャツなど、オリジナル製品の制作を行ってきた。顧客の要望をかなえる対応力や多くのECサイト会員数を強みに、アニメファンを中心としたアクリルグッズの制作で本事業を展開する。

■(有)飯塚印刷(静岡県静岡市)

事業計画名「印刷屋のデザイン・製本技術力をもって遊べるパーソナライズ絵本への進出」

コロナ禍において大口取引先である結婚式場などの印刷物が激減した。そこで印刷屋が培ってきたデザイン・製本力を

もって、WebブラウザとIoT印刷機器を用いて、顧客データ作成から製本までを一気通貫できる仕組みを構築し、個人顧客をターゲットにした「遊べるパーソナライズ絵本」へ進出する。

■株ナイストゥハブ(静岡県浜松市)

事業計画名「地域経済活性化に貢献！デザイン・印刷ノウハウを活かしたアクリル製グッズの企画開発事業」

同社の既存リソースである、デザイン・印刷ノウハウを活かし、新たに市場の成長が期待できるアクリル製グッズの企画開発事業に進出する。企画から製造まで一貫体制を構築することで、地域お土産店等の課題解決に貢献し、地域経済の活性化を牽引する。

■株さくら印刷(千葉県茂原市)

事業計画名「茂原の地から“人、づくりを～地域と繋がるコワーキングスペースなどの展開」

主要である印刷事業が苦境に至る中、地域の「人」づくりの拠点として、新たに「コミュニティスペースSAKRAGI」を展開。コワーキングスペースの他、デジタル人材の育成など、社会課題の解決と付加価値向上を実現するジョイントサービスの展開を通じて事業を再構築する。

■マルモ印刷(長野県岡谷市)

事業計画名「デジタル印刷技術の導入で町の印刷屋からメディアミックスなクリエイティブ企業へ！」

これまで培ってきた紙媒体の印刷業でのデザイン制作力を活かし、デジタル印刷の市場に進出する。「紙のみしか印刷できない町の印刷屋」から、販促の課題を抱える顧客にサポートできるクリエイティブ企業へ成長する。

■株印刷工房ハラダ(長野県上伊那郡)

事業計画名「WEBマーケティング能力と顧客対応力を生かした展示会分野への進出」

展示会装飾の需要に応えることで、既存事業である現場広告シート需要の売り上げ減少分を補填し、さらに売上を拡大させていくことで企業としての成長を図る。また、当社では単なる装飾物の製作だけではなく、他社と連携することで、展示会ブース全体のデザイン・施工までを引き受け、今後新たな事業領域を拡大させていく。

■一般社団法人シアター&アーツうえだ(長野県上田市)

事業計画名「コワーキングスペース運営と簡易印刷サービス事業への新規進出」

既存事業で培った繋がりを活用し、立地を活かしてビジネ

ス層を呼込むコワーキングスペース運営と、高いニーズに応える簡易印刷サービス、コロナからの再生のため2つの新規事業を立上げ、大胆な事業再構築を行なう。

■株リーヴ(京都府京都市)

事業計画名「印刷物の付随業務である封入封緘作業を事業化」

印刷物のデザインや校正を行なう同社。印刷物の封入封緘サービスの提供を行なう。そのための作業環境整備と機械導入を実施する。お客様の封入封緘の課題を解決し、より働きやすい環境づくりに貢献する。

■南アドフル(滋賀県大津市)

事業計画名「デザイン技術とECサイト、印刷設備を融合し、服飾プリント市場へ新規参入！」

広告宣伝業の弊社は、コロナ禍・原油・物価高騰の影響により大打撃を受けている。広告業界でこれまで培ってきたデザイン技術をベースに、新たにECサイト、印刷設備を組み合わせ、急成長している服飾プリント市場へ新たに参入し、事業を再構築する。

■株ヒコハン(滋賀県彦根市)

事業計画名「SDGs支援ツールなどとともに展開する地域初プリントコンビニなどへの進出」

経営環境が悪化する印鑑販売・印刷事業からの事業再構築として、地域初の「デジタルグラフィックデザインスクール」「プリントコンビニ」を展開。印刷事業で得た強みを活かし、リスクリング、リカレント教育などの「学び直し」やSDGs。

■上六印刷(奈良県生駒市)

事業計画名「マルチカラー印刷とパターンオーダー化による低価格帯パッケージ製造事業への進出」

本事業は、当社の今後の成長拡大に向け、高機能印刷機を導入してマルチカラー印刷に対応させ、パッケージ製品のパターンオーダー化と組み合わせ、マルチカラー印刷による「低価格帯のパッケージ製造事業」を新たに開始する。

■高桑印刷(福井県福井市)

事業計画名「求人特化型チャットボットサービスの開発」

コロナ禍で印刷物の需要は激減している。商品のデジタルシフトを図るために、強みである企業の求人支援ノウハウを活用した求人チャットボットシステムを開発し新たなデジタルサービスを提供する。



meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市中村区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....
デザイン~印刷まで
トータルサポート
お気軽にお問合せ下さい。
..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

過労死防止:過労死ゼロの社会を目指し 労働時間の適正な把握と健康管理体制の整備

- 過労死などに繋がる過重労働への対応●長時間労働の是正
- 年次有給休暇の促進●賃金不払い残業の解消

厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署などが主体となって、「過労死等防止啓発月間」、「過重労働解消キャンペーン」が、この11月に集中して展開されている。毎年行なわれるこれらの対策は、過労死などの要因ともなっている長時間労働の削減と過重労働の解消に向けた周知・啓発の取り組みになっている。特に、健康で充実して働き続けることのできる社会を目指すため、事業主、労働者双方において常日頃から心掛けなくてはならない最重要課題と位置付けている。労働時間の現状や過重労働などまとめお知らせする。

過労死防止は喫緊の課題

厚生労働省では、労働時間などの現状について、「週の労働時間が60時間以上の労働者の割合は近年低下傾向であるものの、労働者全体の5%以上となっており、いまだ長時間労働の実態が見られる。また、脳・心臓疾患が業務上によるものと認められた労災支給決定件数についても、依然として高い水準で推移する。近年では、仕事上の強いストレスが原因となって、うつ病などの精神障害を発病し、それが労災と認められる件数も年々増加している」と現状を報告している。

さらに、過重労働と健康障害の関連性についても、「長時間にわたる過重な労働は疲労の蓄積をもたらす最も重要な要因である。具体的には、時間外・休日労働が月45時間を超えて長くなるほど、業務と脳・心臓疾患の発症との関連性が強まる」と警鐘を鳴らす。

この過重労働による健康障害などを防止する措置として挙げられているのが、「時間外・休日労働時間の削減」、「年次有給休暇の取得促進」、「労働者の健康管理」などである。

働き過ぎによる健康障害の防止

■時間外・休日労働時間などの削減

労働基準法が改正され、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別な事業がなければこれを超えることはできない。また、臨時的な特別な事情があつて労使が合意する場合（特別条項）でも、法律に定める上限を守らなければならない。

時間外労働は本来臨時的な場合に行なわれるもので、36協定（時間外労働・休日労働に関する協定）の締結にあたっては、労働者の代表（労働者の過半数で組織する労働組合または労働者の過半数を代表する者）とともに、その内容が指針「労働基準法第36条第1項の協定で定める労働時間の延長及び休日労働について留意すべき事項に関する指針」に適合したもの

となるようにしなくてはならない。

■年次有給休暇の取得促進

年5日の年次有給休暇（年休）を確実に取得することが必要になっているが、これは最低基準である。労働者に付与された年休は、本来すべて取得されるべきもので、年休を取得しやすい職場環境づくり、年休の計画的付与制度の活用などにより年休の取得促進を図る必要がある。

■労働者の健康管理に関わる措置の徹底

健康管理に関わる措置として、「①健康管理体制を整備し健康診断の実施、②長時間にわたる時間外・休日労働を行なった労働者に対する面接指導などの実施、③労働安全衛生法が改正され、面接指導の対象が、『時間外・休日労働時間が1か月当たり80時間を超え、かつ、疲労の蓄積が認められる者』」などを呼び掛けている。

■賃金不払い残業の解消

賃金不払い残業を解消する対策として、「①職場風土の改革、②適正に労働時間の管理を行なうためのシステムの整備、③労働時間を適正に把握するための責任体制を明確化しチェック体制を整備する」などを挙げている。

過重労働による健康障害を防止するには、「過重労働解消キャンペーン月間のみならず、「過重労働ゼロ」を念頭に、常日頃から心掛けることを忘れてはならない」としている。

過重労働解消キャンペーン

過重労働解消キャンペーン期間中の主な取り組み内容を紹介する。

①労使の主体的な取り組みを促進＝使用者団体や労働組合に対し、長時間労働削減に向けた取り組みの周知・啓発などの実施について協力要請を行なう。

②都道府県労働局長による企業への職場訪問＝長時間労働削減に向け積極的な取り組みを行なっている「ベストプラクティス企業」を訪問し、取り組み事例についてホームページ

労働条件相談ホットライン

厚生労働省では、下記の窓口において過重労働や労働相談などに対応する体制を設けている。

労働条件相談ホットライン<委託事業>

フリーダイヤル:0120-811-610(はい! ろうどう)

相談受け時間:月～金17:00～22:00、土日、祝日
9:00～21:00

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/lp/hotline>

などを通じ地域に紹介。

③過重労働が行なわれている事業場へ重点監督の実施＝監督対象の事業場として、長時間にわたる過重な労働による過労死などに関わる労災請求が行なわれた事業所や離職率が極端に高いなど、若者の「使い捨て」が疑われる企業が対象になる。また、重点的に確認する事項としては、時間外・休日労働が36協定の範囲内であるかの確認や、賃金不払い残業が行なわれていないかの確認など、法違反が認められた場合は是正指導が行なわれる。さらに、長時間労働に対しては、医師による面接指導など、健康確保措置が確実に講じられるよう指導がある。いずれにしても、「重大・悪質な法違反が確認された場合は書類送検し公表する」としている。

【参考資料】

● 確かめよう労働条件サイト

働く人や事業主、人事労務担当者向けの労働基準関係法令など、知っておきたいルールや労務管理の改善に役立つ情報などを掲載している労働条件に関する総合サイト。時間外・休日労働・年次有給休暇・労働者の健康管理などチェックができる。<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/>

● 働き方・休み方改善ポータルサイト

企業の皆さんに自社の社員の働き方・休み方の見直しや改善に役立つ情報を提供するサイト。企業や社員が「働き方・休み方改善指導」を活用し、自己診断や企業の取り組み事例を検索し参考にでき、豊富な取り組み事例の中から重労働を防止するための方策や取り組みのヒントを取り入れ、自社内で活用ができる。<https://work.holiday-mhlw.go.jp/>

● 11月15日(水)は 「愛知県内一斉ノー残業デー」

県や労使団体などで構成する「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」では、仕事と生活の調和が実現した社会を目指し、「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2023」(※)を実施し、定時退社や年次有給休暇など休暇を取得しやすい職場環境づくりなどの8つの取り組みに賛同できる事業所を募集している。この一環として、11月第3水曜日を「愛知県内一斉ノー残業デー」として定め、働き方を見直す契機となるよう普及啓発に取り組んでいる。愛知県では、「11月15

過労死等防止対策推進シンポジウム

＜愛知会場＞

●日時:11月28日(火) 14:00～16:30

●会場:名古屋市中小企業振興会館7Fメインホール
(名古屋市千種区吹上2-6-3)

●愛知労働局からの報告:「労働施策総合推進法によるパワーハラスメント対策」愛知労働局雇用・環境均等部指導課

●企業からの取り組み事例発表:「働きやすい職場環境づくりについて」アルプススチール(株)

●基調講演:「日本の職場における過重労働・ハラスメントの構造と課題」講師:今野晴貴氏(NPO法人POSSE代表)

●映像:ドキュメンタリー「過労自殺」同朋高等学校放送部制作

●過労死遺族の声

●参加無料、事前申し込みが必要

検索

日(水)は、是非、定時で退社していただき、趣味や家族との団らんなどの時間をお過ごしください」と呼び掛けている。

※「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2023」とは、次に掲げる8つの取り組み(1つでもOK)に賛同できる事業所を募集しているもので、11月30日まで募集している。

8つの取り組みとは、「①多様で柔軟な働き方の推進、②年次有給休暇等休暇を取得しやすい職場環境づくり、③時間外労働の削減、④定時退社、⑤育児、介護、病気や不妊治療との両立支援や離職した人の復帰支援、⑥男性の育児参画に向けた職場環境づくり、⑦メンタルヘルス対策、⑧管理職や従業員の意識改革」になる。

対象は、愛知県内の企業、団体、事業所になる。申し込み方法は、下記のWebサイト内の申込フォームから。

<https://famifure.pref.aichi.jp/aichi-wlbaction>



高精細印刷と PUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

 **大日印刷株式会社**

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463


大日印刷

検索 

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製本機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

 **株式会社 盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

■セミナーのお知らせ■

「令和時代のアップデート印刷経営とは」
～これから目指す方向と業績を伸ばす
会社が活用する全印工連メニュー～

本セミナーは、奈良県印刷工業組合が主催し、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）が組合支援セミナーとして展開している「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」の一環として開催されるものです。当日はZoom参加も可能なことから組合員の皆さんにご案内しました。

●主催：奈良県印刷工業組合

●開催日時：11月28日（火）、受付14：30、開会15：00、閉会17：00。

●リアル会場：南都銀行新大宮セミナールーム（〒630-8115 奈良市大宮町6-2-1）

●講師：瀬田章弘氏（全日本印刷工業組合連合会副理事長、東京都産業戦略デザイン室、弘和印刷株式会社取締役社長）

●講演内容：売上向上・戦略転換・CSR経営・GC化・DX化・地域創生のための「令和時代のアップデート印刷経営とは」～これから目指す方向と業績を伸ばす会社が活用する全印工連メニュー～。

「ポストコロナを迎え印刷市場は冷え込んでいます。今後さらに市場は縮小するものと考えられます。そのような環境の中で、社会や地域に求められる会社にどのように変えていくか。全印工連の提言とそれを支援する全印工連メニューの活かし方など、事例を含め元気な会社の目指す方向と取り組みを紹介します」。

●申込締切日：11月20日（月）

※セミナー参加にはテキストブック「5



STEPS 5 KEYS 5 DOORS ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」が必要。テキストブックは全印工連から購入可能。定価1,220円（税込）

※Zoom参加ご希望の向きは、申し込み方法及び会費など主催者に直接お尋ねください。奈良県印刷工業組合：〒630-8215 奈良県奈良市東向中町6-409
TEL0742-26-5474、FAX0742-95-5321

■令和6年度「新入社員研修」に

活用できる「助成金」説明会

11月14日メディアージュ愛知で開催

愛印工組/労務・新人教育委員会（山本芳弘委員長）では、令和6年度「新入社員研修」に活用できる、大変お得な「助成金」説明会を下記要項で開催します。採用を予定されている会社、新入社員研修への参加を予定されている会社は、助成金活用の参考に是非ご参加ください。

助成は【受講料に対する助成+参加する従業員の賃金助成】になります。

●日時：11月14日（火）午後3時～4時30分

●場所：メディアージュ愛知3階会議室

●内容/講師：①助成制度の概要/愛知労働局「あいち雇用助成室」事業支援アドバイザー野澤利治氏、②申請書の手順/労務・新人教育委員会メンバー。

●定員：24名（受講料は無料）

●申込み：「助成金説明会参加申込書」に記入の上、愛印工組へFAXで申込んでください（担当：加藤由佳理）。

■社名変更

西支部の㈱モリカワ（森川江美子社長、名古屋市中区）は、この程社名を「モリカワペーパー㈱」に変更した。

西尾張支部のモリ印刷㈱（森功一郎社長、一宮市）は、この程社名を「モリプリント㈱」に変更した。

■全印工連CSR認定

サクラグループがワンスター新規認定取得、認定企業141社に

全日本印刷工業組合連合会（全印工連）は、10月2日開催の第42回全印工連CSR認定委員会において、ワンスター認定19社（新規3社）、ツースター認定1社（更新）、スリースター認定2社（新規、更新各1社）を認定した。これにより、CSR認定企業は141社となった。

●ワンスター新規認定企業：サクラグループ（愛知県）/㈱文昌堂（宮城県）/㈱アドプレックス（広島県）

●スリースター新規認定企業：㈱マルワ（愛知県）

■日印産連GP認定

新規5工場、更新33工場、GP認定工場

444事業所に

日本印刷産業連合会は9月28日開催の第72回グリーンプリンティング（GP）認定委員会において、新規5工場と更新33工場の計38工場を認定した。この結果、GP認定工場は全444事業所になった。

また、同委員会においてGP資機材の認定が行われ、9社19製品（洗浄剤7製品、エッチ液9製品、ドライトナー型デジタル印刷機3製品）を認定した。これにより認定登録製品は、820製品となった。

<新規認定工場>（オフセット部門）

㈱ウェブプリンティング本社工場（埼玉県）/㈱青葉堂印刷本社工場（山形県）/㈱太陽社（香川県）/㈱研文社埼玉工場（埼玉県）/新日本印刷㈱戸田工場（埼玉県）

編集だより

■2018年に高知で開催されて以来、5年ぶりの全日本印刷文化典が10月13日広島で開催された。全国から580名が参集し情報交換と旧交を温めた。

あいちの印刷

No.624

令和5年11月10日発行

発行人 鳥原久資
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

- グラフィックデザイン Graphic design
- ウェブデザイン Web design
- セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
- エディトリアルデザイン Editorial design
- アドバタイジングデザイン Advertising design
- オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz https://www.ad-wise.biz/



多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧



MORISAWAは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 AXUAS

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <https://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



10530027(04) FSC® C015685

ISO 14001

ISO 9001

封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

- 封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！
- 軽オフの更新時にご検討ください。



king キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



VALUE & INNOVATION きらり

KOBUNDO

自動給紙カッティングマシン **NEW**
KBD AUTO CTM
オートシーティエム カッティングマシン

紙器加工の試作に、
少量多品種生産に、
PODのカッティングに、
マルチに活躍する新しい
カッティングマシン登場!!



デジタル制御高精度シートカッター
KBD Value Sheeter 1400II

KBD バリュースーター 1400IIは、
最新の先端技術を採用し、
高速で安定した断裁を可能にする
シートカッターです。

新機能!
マーカーセンサー標準搭載で
印刷済ロール紙のカットが可能に!



これならできる 災害時のBCP対策 **NEW**
KBD スカイガレ〜ジII

低コストかつ信頼のクラウドサーバ
[KBD スカイガレ〜ジII]が登場!
災害やウィルス禍など、移動制限で
出社できない、機械が壊れてデータ
消失の危険性がある…
今後に備えて、今はそのような体制を
変える時です。



URLとリンク先サイトを一括確認! **NEW**
KBD QRエビデンサー

KBD QRエビデンサーは、PDFに配置されたQRコードの情報を
読み取り、URLとリンク先のサイトのスクリーンショットを一覧にし
た検査ファイル(PDF)を書き出すソフトウェアです。紙面にレイ
アウトされたQRコードの内容をチェックしたい時に役立ちます。

- 主なレポート機能
- ・QRコードの読取り可否
- ・リンク先のURLとスクリーンショット

フィニッシングソリューション
KBD MOLLシステム
FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING
ポケットホルダー、封筒、ルームキーカードホルダー、
小包パッケージ、CDスリーブなど様々な形状の
パッケージの加工が可能に!



オートフィードダイカッター
KBD DigiNukky500
デジタル印刷のフィニッシングに
最適な新設計のダイカッター
登場!



株式会社 光文堂

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所/北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄